

令和4年度版

租税教育用副教材

わたしたちのくらしと税



真岡市役所



栃木県・鹿沼市総合防災訓練



とちぎわんぱく公園(壬生町)

暮らしを
支える税

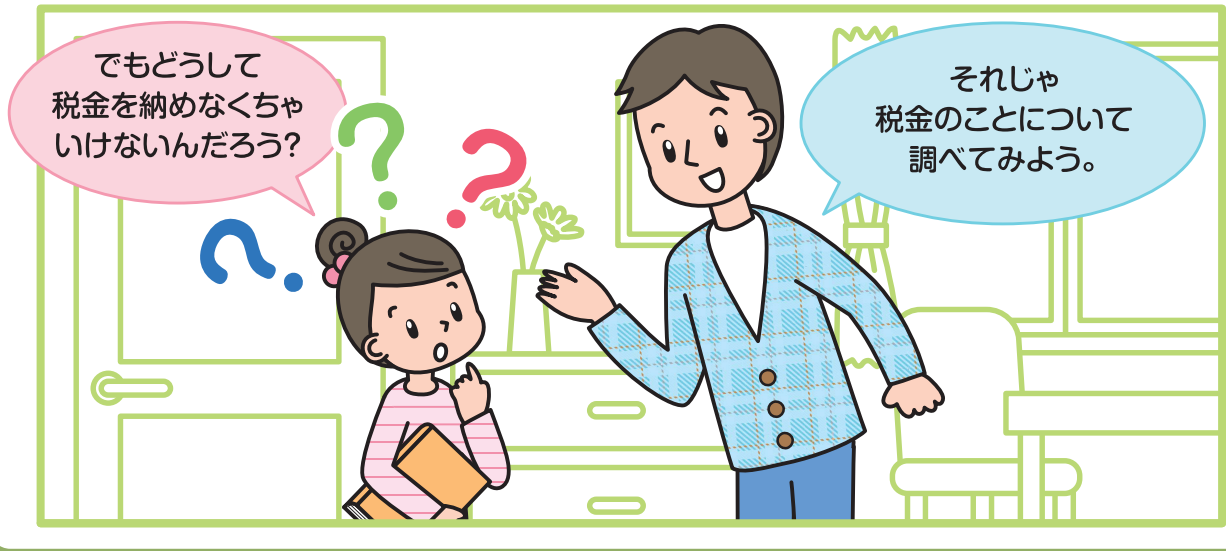
税の役割って
何だろう？

栃木県租税教育推進協議会

税金とは何だろう？



次のページを見よう



もくじ

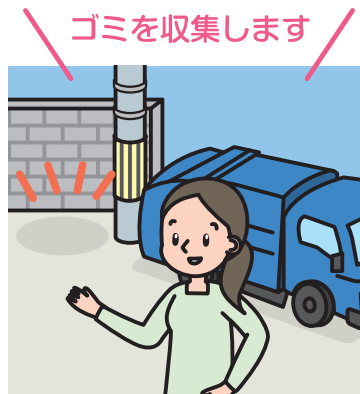
税金とは何だろう？	1
税金は何に使われているの？	2
もし税金がなかったら…？	2
税金はどのようなところに使われているの？	3
税金にはどのような種類があるの？	7
1年間に納められる税金はどれくらいなの？	8
税金の使い方はだれが決めているの？	9
私たちのまちでは税金をどのように使っているの？	10

税金は何に使われているの？

国や県、市町村では、道路の整備や学校を作るための費用を「税金」という形でみんなから集めています。

みんなから集められた「税金」は、わたしたちが安心して暮らせる社会のために使われます。

「税金」は、わたしたちが豊かで安全に暮らすための「会費」のようなものです。



もし税金がなかったら・・・？

道路を歩いていろいろな場所へ出かけますが、道路に穴だらけだったらどうでしょうか。

注意して歩かないと、穴につまづいて転んだり、けがをしたりと、とても危険です。

道路の穴を直せば安心して通ることができますが、穴を直すにはたくさんのお金が必要です。



税金はどのようなところに使われているの？



教育

国民すべてが平等に教育を受けられるように、学校をついたり、教科書を配付したりします。

教育や科学技術などのために、国の予算のうち年間約5兆3,969億円が使われています。

公立学校の児童・生徒一人当たりの年間（月）教育費

（平成30年度）



小学生

約 882,000 円
 （1か月あたり）
 約 73,500 円
 （1日あたり）
 約 4,410 円



中学生

約 1,052,000 円
 （1か月あたり）
 約 87,700 円



高校生

約 1,000,000 円
 （1か月あたり）
 約 83,300 円

※ 一日あたりの金額は年間登校日数を年間200日として計算しています。

わたしたちが平等に教育を受けられるために



小山市立東城南小学校（校舎）

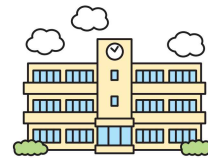


佐野市立あそ野学園義務教育学校（校舎）

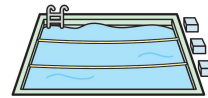


学校をつくるには
いくらぐらいかかるの？

校舎や体育施設の建設のための費用として1年間に**773億円**が使われます。（令和3年度予算）



校舎



プール



体育館



どんなものに税金が
使われているの？

児童生徒が使用する教科書を無償配付するための費用として1年間に**463億円**が使われます。（令和3年度予算）

机・いす



実験器具



教科書





社会保障

わたしたちが納めた税金は、身近なところで使われています。一番多く使われているのは「社会保障」にかかるものです。「社会保障」とは、わたしたちが安心して生活していくために必要な「医療」「年金」「介護」「子育て」などの公的サービス（国や地方がする仕事）のことをいいます。



いりょう 医療

かぜを引いたり、けがをしたりして病院で手当てをしてもらうと、お金がかかります。

かかったお金の一部には、税金が使われています。



ねんきん 年金

老後も安心して暮らしていくために国から受けとるお金（年金）の一部には、税金が使われています。



かいご 介護

介護サービスを利用したときにかかるお金の一部には、税金が使われています。



こそだ 子育て

子どもを産み育てやすいようにするために、保育所や認定こども園などを造ります。

かかったお金の一部には、税金が使われています。



災害復旧

平成 23 年 3 月の宮城県沖を震源とした東日本大震災、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨、令和元年の東日本台風などの災害復旧や復興にも、税金は使われています。



災害復旧の様子



平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害時の救助活動（茨城県常総市）
（提供：陸上自衛隊北宇都宮駐屯地）

わたしたちの 生活を守るために

ゴミの収集や自然環境の保護など、清潔で気持ちよく暮らせるための取り組みをしています。



ゴミの収集



「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した取り組み



ゴミ処理金額にかかる税金
国民一人あたり（1年間）
約 19,159 円
（令和元年度）

わたしたちの 安全を守るために

警察や消防などによってわたしたちは安心して生活することができます。



地域の安全を守るおまわりさん



ドクターヘリと消防隊員とが連携した救助・救急搬送訓練
（提供：下野新聞社 平成 29 年 9 月 21 日掲載）

警察や消防に使われる税金
国民一人あたり（1年間）
約 43,179 円
（令和元年度）





とちぎメディカルセンターしもつが（栃木市）

わたしたちの 健康を守るために

わたしたちが医療を受けるときの費用の援助や、お年寄りやからだの不自由な人の暮らしを支えます。

医療費に使われる税金
国民一人あたり（1年間）
約 130,887 円
（平成 30 年度）



医療の現場



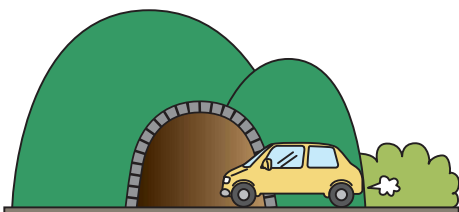
県道宇都宮向田線（芳賀町・高根沢町）

便利な 交通のために

渋滞を防ぐための道路や橋を造ったり、^{いた}傷んだ道路などを直したりしています。



県道桐生岩舟線 白旗橋（足利市・佐野市）



税金にはどのような種類があるの？

国税

所得税

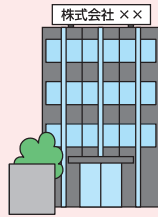


会社などで働いている人は、給料から差し引かれます。差し引かれた税金は会社などがまとめて納めます。

農業をしている人や商売をしている人は、1年に1度自分の税金の額を計算して納めます。

法人税

会社も税金の額を計算して納めます。



消費税



買い物をしたときに支払った消費税は、お店などがまとめて納めます。



自動車税

車を所有している人が納めます。



道府県税

道府県民税

わたしたち住民が住んでいる道府県に納めます。

不動産取得税

土地や建物を取得した人が納めます。

地方消費税

消費税 10%のうち、7.8%分が国税、2.2%分は地方消費税として納めます。

地方税

市町村民税

わたしたち住民が住んでいる市町村に納めます。

軽自動車税

軽自動車を所有している人が納めます。

入湯税

温泉に入ったときに支払った入湯税は施設がまとめて納めます。

固定資産税

土地や建物を所有している人が納めます。



市町村税

直接税

税金を負担する人が直接国や地方公共団体に納める税金

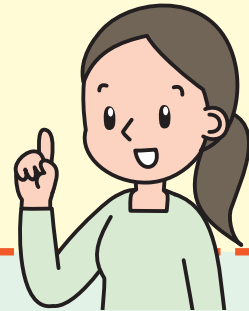
間接税

実質的に税金を負担する人と納める人が異なる税金

現在日本には、約50種類の税金があります。

1年間に納められる税金はどれくらいなの？

1年間に国に納められる税金が**約57兆4,480億円**...
といっても、ちょっと想像が付きませんね。
1万円札をつみ重ねると**約574km**。
この距離はオゾン層を飛び越え、さらに
宇宙ステーションも越える距離です。



税務署



税務署 (国税)

1年間に国に納められる税金

約57兆4,480億円

(令和3年度当初)

県庁



栃木県 (県税)

1年間に栃木県に
納められる税金

約2,380億円

(令和3年度当初)

市町村

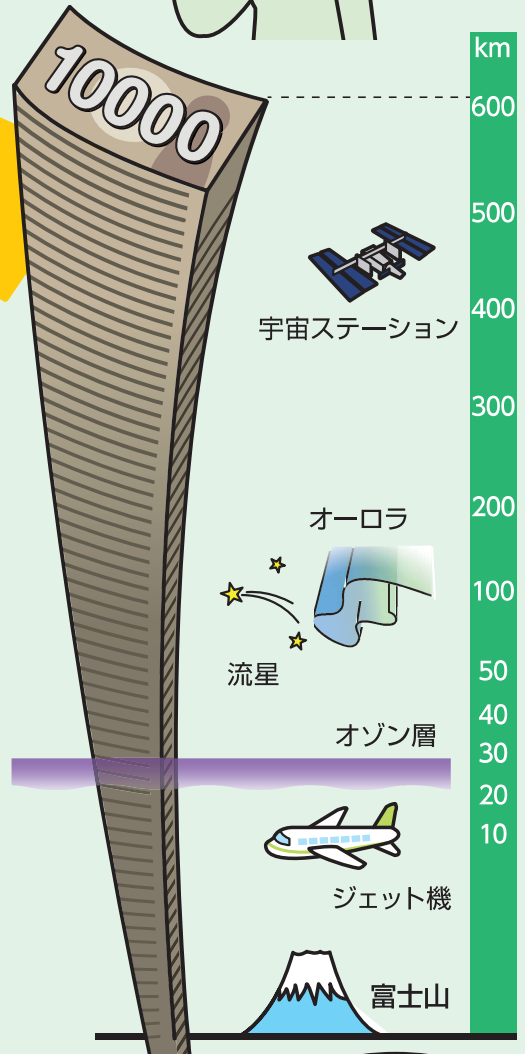


市町村 (市町村税)

1年間に栃木県内の市町に
納められる税金

約2,903億円

(令和3年度当初)



こうして集められた
税金が、全部、みんなのために
使われるんだよ。



使い方は
だれがどうやって
決めるの？

税金の使い方はだれが決めているの？

国は、国民のくらしを豊かにするために、国の収入となるお金^{しゅうにゅう}を税金として集め、どう使うかを話し合いで決めています。まず、内閣^{ないかく}が1年間に入るお金と、国民のために国が行う仕事に必要なお金を計算し、予算案を作ります。そして、その予算案について、国民の代表者として選挙で選ばれた議員^{ぎんいん}が国会で話し合い、予算を決定します。



暮らしを豊かにするための活動



地方 (県や市町村) の予算の決め方

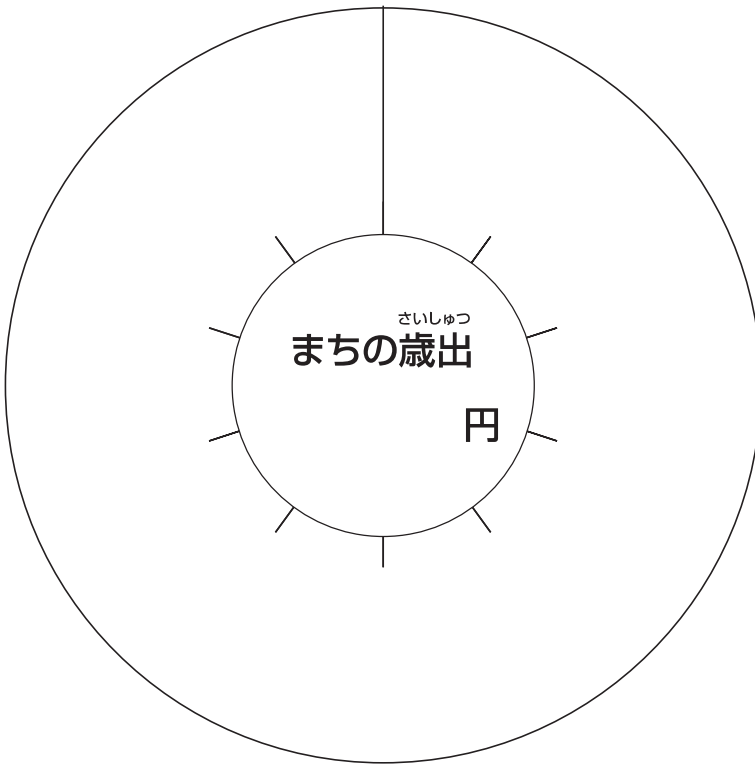
県や市町村でも、国と同じように住民 (県民や市町村民) の代表者が議会 (県議会・市町村議会) で予算を決めています。

私たちのまちでは税金をどのように使っているの？

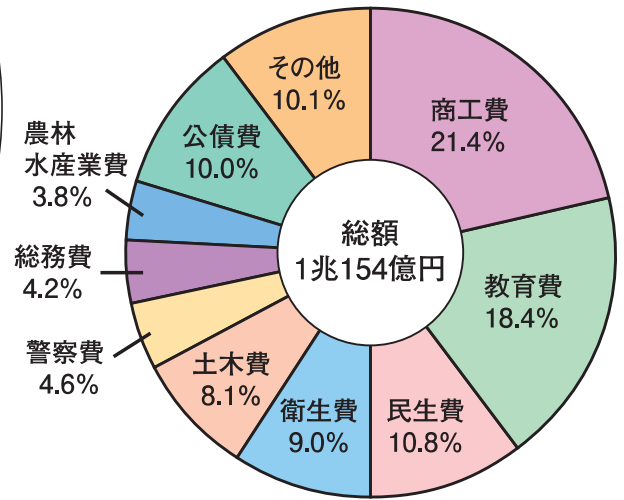
◆私たちのまちの予算を調べよう

調べ方

- ホームページ
- 役所への取材
- 広報紙
- その他



令和3年度当初 栃木県の歳出



ことばの 意味

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 【教育費】 教育のために | 【警察費】 生活を守るために |
| 【民生費】 福祉の充実のために | 【総務費】 市町の振興などのために |
| 【土木費】 道路や橋の整備、まちづくりのために | 【農林水産業費】 農林水産業の発展のために |
| 【商工費】 商工業の発展のために | 【公債費】 県債の返済に |
| 【衛生費】 健康で快適な生活や環境をつくるために | |

◆私たちのまちについて考えてみよう

●どんなものが必要かな。

●住みよいまちにするにはどうしたらいいかな。

◆学習のふりかえり

●税金について、わかったこと、思ったことを書いてみよう。
